

3つのポリシー

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

1. 看護師になりたいという意思がある人
2. さまざまなこと（人や地域社会など）に関心を持てる人
3. 素直さ、誠実さ、謙虚さを持ち、責任を持ち取り組める人
4. 自ら考え、課題解決に向けて前向きに努力し続ける人
5. 様々な人とコミュニケーションを図れる人

ディプロマ・ポリシー（卒業認定、専門士授与の方針）

1. 対象者の成長発達や健康レベル、生活の場に応じた看護を実践できる知識を身につけている。
2. 対象のもてる力を活かした看護実践ができるための原理・原則に基づいた技術を身につけている。
3. 幅広い体系的な専門知識を修得し、科学的根拠を持ち対象の状況に応じて論理的・批判的思考により課題解決していくことができる。
4. 地域医療の現状と専門職の機能と役割を理解している。
5. 倫理観を持ち、一人一人をかけがえのない人として尊重する態度を身につけている。
6. 生涯にわたり研鑽し続けられるよう、主体的に学び続ける力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本校は、ディプロマ・ポリシーに掲げる到達目標を達成するために、看護学の学修が基礎から応用に向けて積み上がるようにカリキュラムを編成する。教育内容、教育方法、学習成果の評価については以下のように方針を定める。

1.教育内容

基礎分野：看護を学ぶための基礎となるもので、科学的思考力及びコミュニケーション能力を高め、主体的な判断行動がとれる基礎的能力を養う。又、人間と社会のしくみを理解し、多様な社会、文化、価値観を理解する幅広い視野を持ち、国際化に対応しうる能力、情報通信技術(ICT)を活用するための基礎的能力を養う科目を配置する。

専門基礎分野：科学的根拠に基づいた看護実践に必要な臨床判断の基盤となる健康から疾病に至るまでの身体の変化と診断・治療を理解し、また、人々が生涯を通じて健康や障害の状態に応じた社会資源の活用ができるための保健・医療・福祉に関する基本概念、関係制度、関係職種の役割を理解する基礎的能力を養う科目を配置する。

専門分野：基礎分野、専門基礎分野での学びをもとに、臨床判断能力や看護の基盤となる理論、技術、看護の展開方法の基礎的能力を養う科目を配置する。又、地域で生活する人を理解し、成長発達や健康レベル、様々な生活の場に応じた看護を実践できるための基礎的能力を養う科目を配置する。さらに、看護の専門性を高めるために、幅広い視野、チーム医療・多職種連携のための看護師の役割を理解し、対象の状況に応じて、看護実践を行うための基礎的能力を養う科目を配置する。

2.教育方法

看護の向上を目指して探求心を養うために、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。ビジョン・ゴールを掲げ、学生自身の能力や発想を引き出し、目標に向い自主的な行動がとれるように支援する。豊かな人間性を養うために、看護学生に必要なマナーについて教科外活動・授業を通して学んでいく。